

# 令和8年度予算を可決!!

高井戸中学校に寄贈されて50周年になる、  
平和への願いが込められたアンネのバラ

アンネのバラについては、  
区HPでご覧になれます。



## 今号の主な掲載内容

- 予算のここを聞く！代表質問  
区長の予算編成方針について、  
各会派の代表6名が質問しました 3~5

---

- 区政を問う 一般質問  
区の施策の状況や今後の方針などについて、  
21名の議員が質問しました 6~9

---

- 令和8年度予算について、  
各会派の代表から意見発表がありました 10・11

---

- 議案等の概要と審議結果  
会派ごとの議案等への賛否を掲載しています 12

### 《声・点字の区議会だより》

本紙を録音した「声の区議会だより」や「点字版区議会だより」をご希望の方に郵送でお届けしていますので、お知り合いの方にお知らせください（お申し込みは区議会事務局へ）。

本紙には随所に二次元コードがあります。これをスマートフォン等で読み込むと、該当の情報に素早く簡単にアクセスできます。



本会議、常任委員会及び特別委員会の録画映像を杉並区議会ホームページからご覧になれます（本会議はライブ配信もしています）。



～令和8年度の予算の概要～ 総予算額3,717億544万2千円

区長が作った予算案は、区民の皆さんから選ばれた議員で構成する「議会」で「議決を経なければならない」と地方自治法で決まっています。区議会では、各会計当初予算案について、各会派の代表質問や予算特別委員会を通じて区の方針や取組内容を審査しました。杉並区議会での予算審査の流れについては、以下をご覧ください。



予算審査の流れ

|             |             |                            |
|-------------|-------------|----------------------------|
| <b>一般会計</b> |             | 2,535億2,800万円 (前年度比3.2%増)  |
| <b>特別会計</b> | 国民健康保険事業会計  | 529億389万4千円 (前年度比1.5%増)    |
|             | 介護保険事業会計    | 474億1万5千円 (前年度比3.0%増)      |
|             | 後期高齢者医療事業会計 | 178億7,353万3千円 (前年度比10.0%増) |

区長から提出された予算案について、「本当に必要な事業なのか、税金がどのように使われるのか」を区議会でしっかりと審査しています。



区長の予算編成方針(要旨)

令和8年度予算編成方針に当たっての基本的な考え方については、3点申し述べる。

第一に、区民のいのちと暮らしを守るための取組に予算を重点的に計上した。

防災・減災対策を推進するため、火災の危険が高い地域での出火防止対策や、初期消火体制を強化していく。加えて、避難生活が少しでも安心できるものになるよう、震災救済所の備蓄品の充実や、環境改善を進める。

また、昨年9月に区内で発生した擁壁倒壊事故を受け、課題のある擁壁の早期解消に全力を挙げて取り組む。

このほか、中小事業者への支援や介護職員等の居住支援、地域福祉コーディネーターの増員や障害者の移動支援事業の見直しなど、各分野で区民の暮らしの安全・安心を確保する視点から、必要な予算の反映に努めた。

第二に、総合計画の計画期間後半を見据え、総合計画・実行計画等の取組に要する経費を確実に予算に反映させた。

8年度は、5年度に改定した第二次実行計画の最終年であり、総合計画の前半最後の年にも当たる重要な1年となる。総合計画の後半期間を見据え、基本構想に掲げる将来像「みどり豊かな住まいのみやこ」の実現に向け、計画を着実に推進する。また、デジタル化推進計画に

基づき、区民の利便性向上のため、8年度末までを目途に法令上の制約があるものを除く区の上の制約がなくなるものを除く区の手続きでオンライン対応可能とする取組を進めるほか、窓口やオンライン上でのキャッシュレス決済導入を加速化する。

第三に、先行き不透明な社会経済状況の中で、将来にわたり区民福祉の向上を図るため、財政の健全性の確保に努めた。

政府は、8年度の経済見通しについて、実質GDP成長率は1・3%程度、名目GDP成長率は3・4%程度の上昇率が見込まれるとしている。一方で、8年度政府税制改正大綱では、自動車税・軽自動車税環境性能割の廃止や道府県民税利子割の見直し、与党税制改正大綱では、特別区財政交付金の原資である固定資産税の9年度以降の税制改正での措置検討などが示され、今後の特別区財政に大きな影響を及ぼす懸念が生じている。

こうした状況を踏まえ、将来の行政課題に対しても適時適切に対応するため、可能な限りの歳出削減や歳入確保に努めた。

また、現下の金利状況と7年度の基金積み立ての状況を踏まえ、財政計画に見込んでいた区債発行を一部見送るなど、「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するための基本的な考え方」に基づき、基金と区債をバランス良く活用した予算編成とした。

予算のここを聞く!

# 代表質問

2月12日・13日・16日に各会派の代表6名が区長の予算編成方針について質問しました。その要旨をお知らせします。

※二次元コードを読み込むと、質疑応答の全容を質問者別の動画でご覧になれます。

### 「責任ある保守政治」のもと、今と将来のための杉並を!

杉並区議会自由民主党

脇坂たつや



第51回衆議院議員選挙結果を総括し、どのように区政を運営していきたいと考えるのか。



問 国政選挙であり、区長として特定の評価を述べる立場になどと考える。国の制度・財政が生活に与える影響を的確に見極め、暮らしを守る区政を着実に進める。

問 次の区長選挙への出馬をほめかす発言を行ったが率直な思いは。なぜこの決断を自身の口からはっきりと伝えないのか。

答 区民の信託を得て、引き続き責任を果たしていきたい。問 「たごびジョン」の現在の進捗状況と今任期満了時の達成見込みを示せ。特に、区長の多選自粛制度について具体的な動きがない。現在の検討は。

答 公約に掲げた101項目のうち、7年度末までに実現あるいは一部実現の見込みを含めた

項目数は55項目であり、任期満了時に変化はない見込み。なお、区長の多選自粛の制度化に関しては、慎重に検討を進めている。

問 高市内閣が掲げる「責任ある積極財政」への区長の評価は。

答 企業の生産性を高めるための投資を加速する取組には理解を示すが、財源が必ずしも明確に示されていないことや、さらなる物価高騰や金利上昇のリスクを抱えていることなどは課題。

問 今後、区立施設マネジメント計画で再編整備に要する経費を大きく圧縮する考えはあるか。

答 計画では長期的な視点に基づき、トータルコストの適正化等を図るとしている。

問 防災・防犯用品カタログギフト事業のアンケート結果では、計算上半分以上の世帯が事業を評価していないと言え。区長は事業が意義あるものと証明する必要があると考えるが見解は。

答 防災や防犯を「自分ごと」として考えてもらいたい、という事業目的に照らせば、区民の行動変容へのきっかけづくりとして大きな事業成果と考える。

問 区内のアニメ制作会社が日本一多いという強みの維持・発展のため、成果指標を明確にし、計画や予算に反映するべきでは。

答 アニメを活用した産業振興策や観光施策等を一体的に進めていくことが必要。成果指標を定め、関連部署と十分連携を図りつつ、施策を進めていく。

事業着手を目指すのではない」と発信したのか。「区内の都市計画道路の効果検証について」を作成した理由を確認する。



問 都公表の当該案だけでは、区はすぐに優先整備路線に着手するという誤解が生じる心配からメッセージを発信。「区独自の検証」は都が具体的な根拠データを示さず、区民に対して整備目的や整備効果を分かりやすく説明することが難しかったため、都市計画道路のメトリック等を区民に知ってもらうために実施した。

問 善福寺川上流地下調節池の工事を巡り、グリーンインフラは治水対策の本命ではない。何度も氾濫した経験から、地域住民の生活を守る都の工事であり、理解を得るために努めてほしい。

答 グリーンインフラの取組との両輪で対策を進めることが不可欠。地域の声を真摯に受け止めて、理解に向け努力していく。

問 区立学校が抱える本質的な課題と、8年度の教育委員会の組織改正の具体的な内容を伺う。

答 保護者や地域住民との信頼関係に基づく学校づくりの基盤整備が課題。解決には地域全体で子どもを育てる体制への転換が不可欠。組織改正では、学校運営に係る事務の一元化や学校

関連部門が担っていた事務の統合、教育相談窓口の一本化と関連業務の連携強化を図り、10

20年先を見据えた教育を戦略的に考えていく組織を新設する。

### くらし守る杉並区政へ、対話による区民参画の区政運営を

日本共産党杉並区議団

山田耕平



問 岸本区政4年間で対話の区政が前進。計画や施設、子ども居場所づくり等で、検討段階から区民の声を反映してきた。さらに住民参加を広げるべき。



答 対話の実績は44事業、468回、延べ約1万8千人が参加。対話の取組は全庁的に定着しつつあり、区立施設マネジメント計画や子ども居場所づくり等で成果が現れている。すぎなみ

ボイス等を積み重ね、対話のプロセスや経緯を分かりやすく伝え、幅広い世代や多様な担い手のさらなる区政参加につなげる。

問 対話を一過性の取組とせず、住民参画と住民自治を区政運営の土台として定着させよ。

答 取組案の検討段階から区民と課題を共有し、意見交換を図る中で、多くの区民が納得感を得ながら合意形成し、地域課題を自分ごととして捉えることが

できている。対話のプロセスを共有し、多様な担い手の参画を促し、住民自治を着実に広げる。

問 物価高騰が長期化し、食費、光熱費、家賃の三重苦が区民生活を直撃。低所得世帯支援だけでなく、幅広い区民の生活防衛と区内経済を支える対策を。

答 物価高騰は一時的でなく中長期的な課題。低所得世帯への給付、全区民向けキャッシュレスポイント還元事業等を実施してきた。区民生活の実態等を注視し必要な対策を実施する。

問 住まいは権利、物価高騰と家賃高騰のもと住宅問題にどう向き合うのか。家賃助成制度を拡大し、セーフティネット専用住宅や転居費用助成等を発展させるべき。

答 住まいは権利の認識のもと、住宅確保要配慮者支援、セーフティネット専用住宅の確保、家賃助成、転居費用助成等を進めてきた。家賃助成制度は運用の中で課題が見えてきたため、必要な方に届くよう制度を見直し、安定した住まい確保に取り組み。

問 介護現場で人材不足が深刻。ケア基盤を守るため「ケアする人をケアする」支援を。人材確保・定着支援をどう進めるのか。

答 実態調査で区に望む支援として家賃補助や住居特別手当、採用・募集経費の支援が多かったことから、居住支援補助人材採用活動経費補助等を実施する。今後も実態把握に努めケア基盤の充実を図る。

問 児童館等の子どもの居場所の地域偏在解消に向けて、整備と機能強化を進めるべき。

答 居場所がないと感じる子ども



もが一定数いることや、児童館のない地域では交流の場などが十分でないことが課題。新たな児童館整備と機能強化を進め、多様な居場所づくりを進める。

問 都市計画道路は都の情報公表や意思決定過程が不十分。区としてオープンハウスやデザイン会議を行ってきた。今後も住民自治のまちづくりとして対話を保障し、拙速な事業化を避けべきと考える。

答 住民生活に大きく影響する計画が、十分な情報がないまま短期間で決まってしまうことは問題。区独自の情報提供等に努めている。デザイン会議で、参加者主体のテーマ部会が発足し、自分たちのまちは自分たちでつくる住民自治のまちづくりが進んでいる。

問 善福寺川上流地下調節池は、騒音、振動、緑地や公園機能喪失等、近隣住民の不安が根強い。説明改善、代替地、樹木・遊具の保全確保、事業単体の費用使用分析の開示を都に求めるべき。

答 住民の不安や懸念を重く受け止めている。着座形式で質疑を共有できる説明の場の確保など、住民に寄り添った説明を都に求めてきた。緑地や公園機能確保は説明会で示され、代替用地策は都と協力して取り組む。

B/C開示を求める声も都に伝えており、正確かつ十分な情報提供等を求め、都と連携・協力して住民に対して説明を尽くす。

※掲載している代表質問の内容は当時の発言をもとに構成しているため、現在の状況とは異なる場合があります

### 不確実な時代に向き合う持続可能な区政運営を問う

杉並区議会公明党

中村康弘



確実性が高まる中、歳入見通しや財政収支への影響をどう把握・分析し、予算編成に反映させ、財政的備えを講じたのか。



具体的な影響額を見通すことは困難だが最大の注意を払う。最終補正予算で施設整備基金や財政調整基金等を積み増し、8年度当初予算で区債発行を一部見送るなど、財政の健全性に配慮した予算編成を行った。

「防災・防犯用品カタログギフト」事業などを通じて向上した区民の防災・防犯意識を継続的に高めるために、どのような取組が必要か。

LINEの活用等を通じて、家庭での備蓄の必要性や避難行動の確認等、具体的な行動を促す情報発信を継続的に行う。

NTT東日本と締結の災害時協力協定にはドローンを活用した被害状況の情報収集等が盛り込まれている。実施体制や役割分担をどう想定しているのか。

NTT社員が保有機器を操作して情報収集し、得た情報を区の災対本部に提供してもらう。杉並区産Masasで蓄積される移動履歴などのデータを政策形成や交通計画の見直しにどのように反映、活用するのか。

持続可能な地域公共交通の実現に向けた運行の最適化・効率化や、利便性向上につながる利用促進策の検討に生かす。

住宅確保に困難を抱える方一人ひとりの状況やニーズに応じた「居住支援パッケージ」を構築すべきとこれまでも訴えてきたが、改めて見解を伺う。



居住支援パッケージの構築団体担当者を講師に迎え、8年度早期に区の居住支援に携わる方を対象に勉強会を開催する方向で準備中。どの居住支援パッケージが適切か等を検討する。

「荻外荘公園について」さらなる魅力の発信に努める」としているが、8年度予定している具体的な取組を伺う。

詳細は検討中だが、荻窪三庭園を巡りながら詩歌をつくるイベントのほか、大学の公開講座において荻外荘をテーマにした講義などを予定している。

健康アプリ「すぎなみチャレンジ」の年齢階層別の登録状況と事業評価について伺う。

18歳から29歳までが1230名、30歳代が1401名、40歳代が1246名、50歳代が1246名、60歳未満の働く世代が4945名。ターゲットである若い世代を含む働く世代が気軽に楽しく健康づくりに取り組むことにつながっていると評価。

職員へのDXの浸透・定着データに基づく政策立案・行政運営をどのように実現するか。

「杉並区DX人材育成方針」を策定し、各職層における取組姿勢や推進体制等の明示や、DX推進サポーターの配置・育成を行う。また、職員のデータ利活用のスキル向上を図る。

### 区民の声を大切に、人権と暮らしが守られる区政を！

立憲民主党杉並区議団

ひわき岳



「新たな戦前」という指摘が広く見られる。排外主義の風潮も含め、区長は戦後81年の現状をどのように捉えるか。

多様性の尊重に疑問を呈し、排外主義を助長する声を危惧。相互理解の構築と多様性を尊重する包摂的な社会構築に努める。

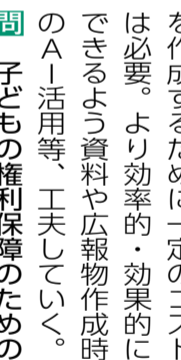
新事業の平和施策に関する区民懇談会で、平和資料館の必要性を議論することを求める。

テーマは今後考えるが、次世代に語り継ぐ記憶の継承の視点で、平和施策のあり方等の意見を聞き、施策に反映していく。

物価高騰対策として自治体は何に取り組みべきと考えるか。

国の重点支援交付金を最大限活用しつつ、区の一般財源も投入しながら、区民生活を下支えする施策を着実に展開する。住民主体の施設整備等への投資として、対話にかかる時間

や経費は十分に価値のあるコストと考えるが、区長の考えは。地域の実情を踏まえた施設整備に向けて住民と共に計画案を作成するために一定のコストは必要。より効率的・効果的にできるよう資料や広報物作成時のAI活用等、工夫していく。



子どもの権利保障のための具体的な体制構築について、どのような構想を描いているのか。

子どもの権利保障に関する施策の実施状況について、子ども等から意見を聴くなどして検証・改善に取り組み予定。併せて、相談体制や要支援児童等への支援策の充実などに取り組み。

浜田山駅南口開設の話し合いを進めると同時に、踏切の安全確保の取組を検討してほしい。

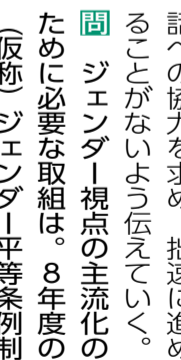
早期の整備に向け引き続き地権者や京王電鉄との協議に誠実に取り組む。京王電鉄と連携して有効な安全対策を検討する。

都市計画道路の優先整備路線に選定されると今後15年、住民は不安を抱えて暮らすことになる。その重さを認識しているか。整備によるデメリットも区民と議論し、見直してほしい。

都施行の133号線は、地域住民の声を都に伝え、拙速に進めることがないよう求めてほしい。

住民の不安や思いは重く受け止めている。区から正確な情報を地域に提供し、道路事業で失われる可能性もある要素の議論が必要。133号線は、都に

対して、地域の不安や疑問の声を受け止め、必要な情報を提供するなど丁寧な対応を求める。また、地域の方々との議論・対話への協力を求め、拙速に進めることがないよう伝えていく。



ジェンダー視点の主流化のために必要な取組は。8年度の(仮称)ジェンダー平等条例制定に向け、現時点での見直しは。

区のあらゆる施策や事業にジェンダーの視点を取り入れるために、ジェンダー視点から事業点検を実施し、ジェンダー予算の対象事業を抽出する。条例制定は、実行計画に基づきジェンダー平等推進本部で検討する。

ケアする人をケアするという視点から、高齢者施策に関する展望とその意気込みを伺う。

介護の担い手を守り支えることは、高齢者の暮らしを守ること。国や都の動向等を踏まえ、区独自の支援策を講じていく。

移動支援事業の拡充を求めてきた。8年度の確認をする。

就労継続支援や生活介護施設への通所利用を生活実態に応じて利用できるよう変更。また、肢体不自由児・者で障害者手帳をお持ちの方を対象とする。併せて、ヘルパー人材の安定的確保に向け、報酬単価引き上げや資格取得の受講料助成等を行う。

区費時間講師の追加配置はどのような規模・配置で行うか。求めてきたフルタイムの区費教員の処遇改善、増員は。試験的に小学校3校の中学校に、1週間に27コマずつ配置。常勤の区費教員制度は学校教育現場での教育効果が高いことなどを踏まえ、あり方を検討する。

### 「請願・陳情の審査結果」

【採択】

国民健康保険の区民に対する資格確認書の一斉交付に係る陳情(7陳情第17号)

健康保険証を復活させるよう国に対して意見書の提出を求める陳情(7陳情第19号)

マイナ保険証保有の有無にかかわらず、資格確認書をすべての被保険者に発行を求める陳情(7陳情第20号)

国に対して訪問介護の基本報酬引き上げの意見書提出を求める陳情(8陳情第2号)

【趣旨採択】  
障害者のきょうだい児に対する支援に関する陳情(5陳情第28号)

健康保険証の存続を求める意見書の提出に関する陳情(5陳情第29号)

現行の健康保険証の存続を求める陳情(5陳情第30号)

改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を求める意見書の提出を求める陳情(5陳情第31号)

健康保険証の廃止中止等を求める意見書を提出することに関する陳情(5陳情第43号)

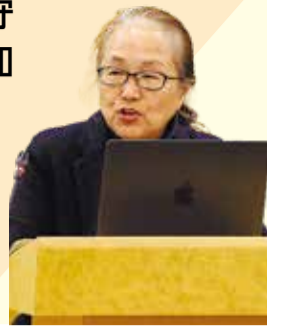
障害者のきょうだい児に対する支援に関する陳情(6陳情第15号)

「国に対し、現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書」の提出を求める陳情(6陳情第25号)

桃井第三小学校地域の子どものための児童館早期復活

### 区民の命と暮らしを守り多様な声を聴く参加型区政の実現へ

シスターフード杉並 奥山たえこ



**問** 対話型の区政運営について職員への反応はいかがか。

**答** ノウハウが徐々に蓄積されており、対話を通じて合意形成に対する手応えを感じている。

**問** 区立施設の再エネ調達の2026年度目標は。

**答** 今年度は76%見込み。原則100%、早期の達成に向けて取組を進めていく。

**問** 各家庭のコンポストで作った堆肥を農地等で活用する取組の仕組みを伺う。



**問** モデル事業として3年間実施。家庭等で作成した堆肥を3カ所の区内農地に持参し、再度発酵作業を行う。品質検査の上、堆肥としての利用効果等を検証。

**問** 区直営清掃職員の採用数は今後増やしていくのか。中長期的な人員確保の道筋はあるのか。

**答** 150人程度必要。2月現在常勤と暫定再任用で177人。

**問** 年齢構成を考慮すると、さらに採用人数を増やす必要がある。

**問** ジェンダー平等推進本部は、具体的にどのような役割を果たし、区政に実装していくのか。

**答** 庁内横断的に推進する。本部長は区長である。今年度は審議会答申の提言の具体化、あらゆる施策や事業にジェンダーの視点を取り入れる「ジェンダー視点の主流化」の取組として事業点検の実施を予定。

**問** 区の「仮称ジェンダー平等に関する条例」は制定への着手が遅れてきた。先進的な条例を作成してほしい。ジェンダーを「社会における権力・資源・意思決定の偏在を生み出す構造」として捉え、その視点を条例に反映させていく必要がある。

**答** 現在の日本社会では、固定的な性別役割分担意識等がいまだ根強くあり、また性の多様性に対する理解不足や偏見・差別の顕在化が進んでいる。今このタイミングで条例化を検討することに意義があると考えている。

**問** 岸本区長の目玉政策である家賃助成制度の対象者の設定は、どのようにして決定したのか。

**答** 区営住宅入居希望者で入居できない世帯。その上で優遇抽選を実施しているひとり親、多子世帯。毎月の家賃支払い実績報告を活用し、必要な行政サービスにつなげる仕組みとした。

**問** 介護予防・日常生活支援総合事業は今後どのような展開になるのか。何がどう変わるのか。

**答** 今年度から「人生100年いきいきプロジェクト」と称し、要支援等の高齢者に利用促進を図る。介護予防の普及啓発、通

所、交流活動などモデル事業を3カ所のゆうゆう館で開始する考え。住民主体のサービス・活動の場を拡充していき、介護度の中重度化の抑制等につなげていく。

**問** 旧若杉小跡地活用で中高校生機能優先児童館の整備が打ち出されたが、その経緯を伺う。

**答** 跡地活用ワークショップで整備案を示し、議論等を踏まえ決定した。昨年来、計5回の中高校生ワークショップでの意見を施設設計に反映していく。

**問** 子ども自身が子どもの権利を知り、使えるようになることが自身を守ることになる。2026年度に開設する区立児童相談所では子どもの権利擁護にどのように取り組むのか。

**答** 杉並区版「子どもの権利ノート」を活用し、「安心して生きる権利」などを丁寧に伝える。一時保護施設では、子どもの意見表明支援員、いわゆるアドボケートを導入し、子どもが自ら意見発信できる力を育む。

**問** 人権に基づくインクルーシブ教育について区の見解を伺う。

**答** 重要な視点である。障害の有無にかかわらず、「共に認め合い、みんなでつくる学びのまち」の実現を目指している。一方で、児童・生徒一人ひとりの希望を丁寧に受け止め、きめ細やかな学びにも取り組んでいく。

所、交流活動などモデル事業を3カ所のゆうゆう館で開始する考え。住民主体のサービス・活動の場を拡充していき、介護度の中重度化の抑制等につなげていく。

**問** 旧若杉小跡地活用で中高校生機能優先児童館の整備が打ち出されたが、その経緯を伺う。

**答** 跡地活用ワークショップで整備案を示し、議論等を踏まえ決定した。昨年来、計5回の中高校生ワークショップでの意見を施設設計に反映していく。

**問** 子ども自身が子どもの権利を知り、使えるようになることが自身を守ることになる。2026年度に開設する区立児童相談所では子どもの権利擁護にどのように取り組むのか。

**答** 杉並区版「子どもの権利ノート」を活用し、「安心して生きる権利」などを丁寧に伝える。一時保護施設では、子どもの意見表明支援員、いわゆるアドボケートを導入し、子どもが自ら意見発信できる力を育む。

**問** 人権に基づくインクルーシブ教育について区の見解を伺う。

**答** 重要な視点である。障害の有無にかかわらず、「共に認め合い、みんなでつくる学びのまち」の実現を目指している。一方で、児童・生徒一人ひとりの希望を丁寧に受け止め、きめ細やかな学びにも取り組んでいく。

所、交流活動などモデル事業を3カ所のゆうゆう館で開始する考え。住民主体のサービス・活動の場を拡充していき、介護度の中重度化の抑制等につなげていく。

**問** 旧若杉小跡地活用で中高校生機能優先児童館の整備が打ち出されたが、その経緯を伺う。

**答** 跡地活用ワークショップで整備案を示し、議論等を踏まえ決定した。昨年来、計5回の中高校生ワークショップでの意見を施設設計に反映していく。

**問** 子ども自身が子どもの権利を知り、使えるようになることが自身を守ることになる。2026年度に開設する区立児童相談所では子どもの権利擁護にどのように取り組むのか。

**答** 杉並区版「子どもの権利ノート」を活用し、「安心して生きる権利」などを丁寧に伝える。一時保護施設では、子どもの意見表明支援員、いわゆるアドボケートを導入し、子どもが自ら意見発信できる力を育む。

**問** 人権に基づくインクルーシブ教育について区の見解を伺う。

**答** 重要な視点である。障害の有無にかかわらず、「共に認め合い、みんなでつくる学びのまち」の実現を目指している。一方で、児童・生徒一人ひとりの希望を丁寧に受け止め、きめ細やかな学びにも取り組んでいく。

所、交流活動などモデル事業を3カ所のゆうゆう館で開始する考え。住民主体のサービス・活動の場を拡充していき、介護度の中重度化の抑制等につなげていく。

**問** 旧若杉小跡地活用で中高校生機能優先児童館の整備が打ち出されたが、その経緯を伺う。

**答** 跡地活用ワークショップで整備案を示し、議論等を踏まえ決定した。昨年来、計5回の中高校生ワークショップでの意見を施設設計に反映していく。

**問** 子ども自身が子どもの権利を知り、使えるようになることが自身を守ることになる。2026年度に開設する区立児童相談所では子どもの権利擁護にどのように取り組むのか。

**答** 杉並区版「子どもの権利ノート」を活用し、「安心して生きる権利」などを丁寧に伝える。一時保護施設では、子どもの意見表明支援員、いわゆるアドボケートを導入し、子どもが自ら意見発信できる力を育む。

**問** 人権に基づくインクルーシブ教育について区の見解を伺う。

**答** 重要な視点である。障害の有無にかかわらず、「共に認め合い、みんなでつくる学びのまち」の実現を目指している。一方で、児童・生徒一人ひとりの希望を丁寧に受け止め、きめ細やかな学びにも取り組んでいく。



### 対話だけでなく、杉並区政の課題に、迅速な決断と即応を！

維新・無所属議員団 田中朝子



**問** 対話自体が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる



**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる

**問** 区長は今年6月の区長選に立候補する意向を表明したが、どのようなことを実現させたくて2期目に挑戦するのか伺う。

**答** 当初予算案に基づく取組を着実に軌道に乗せ、残された任期を全うした上で、これまでの経験と知見を生かし、区政が直面する課題にどう向き合い、区の未来に必要な政策をどう進めていくかを公約として示す。

**問** 区政を今よりスピード感を持って進めるようにすべきだが、今後の「対話の区政」をどのように進めていくのか伺う。

**答** 公共用地におけるみどりの確保については、区民が木陰の涼しさなど多面的な効果を実感できるように、木陰の確保や暑熱緩和につながる取組を強化したい。区と区民の協働により、将来にわたり地域全体のみどりを豊かにしていくことを目指す。

**問** 増加する発達障害の子どもたちへの今後の支援、対応についてどう考えるのか。「自閉症・情緒障害特別支援学級」の設置や「学校等における作業療法士の活用」の進捗状況、今後の予定について伺う。

**問** 区長は今年6月の区長選に立候補する意向を表明したが、どのようなことを実現させたくて2期目に挑戦するのか伺う。

**答** 当初予算案に基づく取組を着実に軌道に乗せ、残された任期を全うした上で、これまでの経験と知見を生かし、区政が直面する課題にどう向き合い、区の未来に必要な政策をどう進めていくかを公約として示す。

**問** 区政を今よりスピード感を持って進めるようにすべきだが、今後の「対話の区政」をどのように進めていくのか伺う。

**答** 公共用地におけるみどりの確保については、区民が木陰の涼しさなど多面的な効果を実感できるように、木陰の確保や暑熱緩和につながる取組を強化したい。区と区民の協働により、将来にわたり地域全体のみどりを豊かにしていくことを目指す。

**問** 増加する発達障害の子どもたちへの今後の支援、対応についてどう考えるのか。「自閉症・情緒障害特別支援学級」の設置や「学校等における作業療法士の活用」の進捗状況、今後の予定について伺う。

**問** 「コミュニティFM」の開局について考えを伺う。

**答** 地域情報や行政情報をどのメディアを用いて発信することが持続可能で効果的なのか、幅広い視点から考えていきたい。

**問** 古くからの飲食店街を残すのか残さないのかをしっかりと決め、都市計画道路周辺まちづくりを進めるべきでは。

**答** 存続はさまざまな要素に影響されるため、行政が「残すか残さないか」と二分法で判断するのではなく、地域の方々と丁寧に議論を重ねる必要がある。

**問** 「都市農業推進プラン」を策定して農地や農家の減少を食い止め、都市農業発展への支援をすべきでは。都市農業の今後への考えと合わせて見解を伺う。

**答** 区民に対しても多くの恩恵を与える農地を保全していくための実効性のある方針を定めたい。杉並らしく農業を発展させていく取組についても、産業振興計画の改定の中で検討する。

**問** 区内公共用地の樹木や樹木の増加を図ってはいかがか。

**答** 公共用地におけるみどりの確保については、区民が木陰の涼しさなど多面的な効果を実感できるように、木陰の確保や暑熱緩和につながる取組を強化したい。区と区民の協働により、将来にわたり地域全体のみどりを豊かにしていくことを目指す。

**問** 増加する発達障害の子どもたちへの今後の支援、対応についてどう考えるのか。「自閉症・情緒障害特別支援学級」の設置や「学校等における作業療法士の活用」の進捗状況、今後の予定について伺う。

**問** 「コミュニティFM」の開局について考えを伺う。

**答** 地域情報や行政情報をどのメディアを用いて発信することが持続可能で効果的なのか、幅広い視点から考えていきたい。

**問** 古くからの飲食店街を残すのか残さないのかをしっかりと決め、都市計画道路周辺まちづくりを進めるべきでは。

**答** 存続はさまざまな要素に影響されるため、行政が「残すか残さないか」と二分法で判断するのではなく、地域の方々と丁寧に議論を重ねる必要がある。

**問** 「都市農業推進プラン」を策定して農地や農家の減少を食い止め、都市農業発展への支援をすべきでは。都市農業の今後への考えと合わせて見解を伺う。

**答** 区民に対しても多くの恩恵を与える農地を保全していくための実効性のある方針を定めたい。杉並らしく農業を発展させていく取組についても、産業振興計画の改定の中で検討する。

**問** 区内公共用地の樹木や樹木の増加を図ってはいかがか。

**答** 公共用地におけるみどりの確保については、区民が木陰の涼しさなど多面的な効果を実感できるように、木陰の確保や暑熱緩和につながる取組を強化したい。区と区民の協働により、将来にわたり地域全体のみどりを豊かにしていくことを目指す。

**問** 増加する発達障害の子どもたちへの今後の支援、対応についてどう考えるのか。「自閉症・情緒障害特別支援学級」の設置や「学校等における作業療法士の活用」の進捗状況、今後の予定について伺う。

**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる

**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる

**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる

**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる

**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる



**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる

**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる

**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

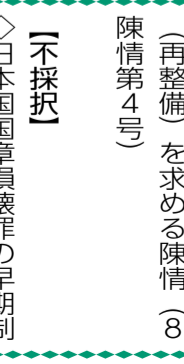
**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる

**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる

**問** 対話型が目的化すべきでないが、意見の異なる住民同士が議論を重ねる取組では、時間をかけて対話の場を設け、粘り強く合意形成を図る必要がある。

**問** 平常時からさまざまな情報発信ができ、災害時の区民への情報伝達手段の確保もできる



※意見書の全文は、区議会ホームページでご覧いただけます。

※意見書の全文は、区議会ホームページでご覧いただけます。

※意見書の全文は、区議会ホームページでご覧いただけます。

※意見書の全文は、区議会ホームページでご覧いただけます。

※意見書の全文は、区議会ホームページでご覧いただけます。



### 意見書の提出

区議会は、「従来の健康保険証の復活を求める意見書」を衆議院議長等へ1月14日付、「訪問介護の基本報酬の引上げを求める意見書」を衆議院議長等へ3月31日付で提出しました。

〔再整備〕を求める陳情（8陳情第4号）

〔不採択〕

- ◇日本国国旗損壊罪の早期制定を求めることについての請願（8請願第1号）
- ◇新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める請願（8請願第2号）
- ◇いのちの電話に関する陳情（5陳情第39号）
- ◇いのちの電話に関する陳情（6陳情第16号）
- ◇政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情（7陳情第5号）
- ◇政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める陳情（7陳情第11号）
- ◇杉並第一小学校の校庭への人工芝敷設計画の再考を求める陳情（8陳情第5号）

# 区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。  
2月16日～19日に21名が質問しました。その要旨をお知らせします。

※二次元コードを読み込むと、質疑応答の全内容を質問者別の動画でご覧になれます。

自衛隊至近の区有地を外資に売却！売却区長・区議を許すな！



問 区は昨年末、区外に所有する土地建物(旧富士学園)を、「インド系の瞑想団体」に売却。しかしこれは陸上自衛隊北富士駐屯地のすぐそばで、内閣府の定める「注視区域」に含まれることを、区は議会に説明してこなかった。自民・共産・立憲・公明らの賛成多数で可決された。また、このような区の暴走に待ったをかけることが、本来区議会の務めだった。

岸本聡子区長は猛省せよ。



答 議案に関連する情報提供は、より丁寧にしていきたい。

問 区内で発生しているいじめに関する報道に関心が集まっている。区役所ロビーで開催中の「子どもの権利・いじめの防止に関するパネル展」会場で、視察していた区長が、被害児童の「いじめを受け不登校に。校長の対応に納得していない。調査は終わらないまま。一生懸命取り組んでたら3年放置されないよ」との必死の訴えに「そう言われたら仕方ない」と返答したとの内容。この報道は事実か。

答 「あなたがそのように感じるの、仕方ないことかもしれないね」という旨で話した。

福祉車両、残電柱対策 退職自衛官の活用で 区民の命を守れ！



問 災害時、車いす利用者など移動困難者の支援に福祉車両は有用。その担い手や育成、訓練について問う。

答 運転手は事業者の協力を想定し、すぎなみ地域大学で育成に努める。また、「見る訓練」から一歩踏み込んだ取組について検討を進める。



問 退職自衛官の専門的知識や経験についての有用性を問う。

答 危機管理や防災の分野において多様な経験を持った人材の登用は地域防災力の向上のためには有用である。

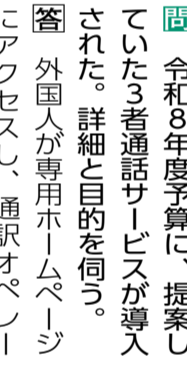
問 退職自衛官の活用は、専門的知見、人材不足解消といった観点からも、非常に有益であると考えるが区の見解を問う。

高齢者・外国人・ケアリーパー全ての人の命と生活を守る！



問 防災・防犯用品カタログ事業をどう評価しているのか。

答 事業のアンケート回答者の95%の方が「これを契機に防災・防犯の備えをしようと思つた」と回答。区民の意識醸成と行動変容に寄与したと認識。



問 火災安全器具の給付事業、火災警報器のあっせん事業の促進を求め区の見解を問う。

答 安心おたっしや訪問、ケア24等の高齢者総合相談などの機会を捉え、周知・啓発に努める。

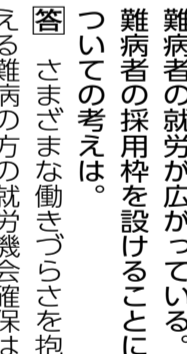
問 令和8年度予算に、提案していた3者通話サービスが導入された。詳細と目的を問う。

手帳のない難病者の就業・なみすけグッズのオンライン販売を



問 昨年10月、厚労省が障害者雇用率の算定に、障害者手帳を持たない難病者らも含める方向で検討すると明らかにしたとの報道があり、令和9年の法改正を目指している。山梨県では、全国で初めて障害者雇用枠とは別に難病者を対象とした職員採用を開始し、7年4月から3名が県職員として働いている。また、港区では、難病患者が就労体験職員として難病を抱える方を採用し、障害者手帳を持たない難病者の就業が広がっている。難病者の採用枠を設けることについての考えは。

答 さまざまな働きづらさを抱える難病の方の就業機会確保は、難病への理解促進と共生社会実現に向けた意義深い取組である。国の検討内容をしっかりと収集しながら、制度改正に備えていきたい。



問 区の魅力発信やシティプロモーションの視点から、なみすけグッズの実店舗以外での販売方法も検討してほしいが。

答 広くなみすけの魅力を外に発信したい思いもあり、他自治体に経費も含めた販売の状況や課題を伺いながら考えていく。

問 区の魅力発信やシティプロモーションの視点から、なみすけグッズの実店舗以外での販売方法も検討してほしいが。

自転車走行の安全対策を・中高年単身女性のお話会実現へ！



問 高齢者対象や子ども乗せ自転車等の大型自転車対象の講習会、運転免許の有無に基づく講習会を開催してほしいが見解は。

答 年代や運転免許の有無といった特性に応じた講習会はとも効果的であるので、実施に向けた検討を進めていく。



問 自転車が行きやすい街を作るため、自転車に興味の方や、競技として実践している方との意見交換の場などを設けては。

答 日頃から自転車を利用する方に加え、自転車を愛する文化醸成や多様なニーズ把握のため、自転車競技等の関係者など幅広く話を伺うことも検討していきたい。

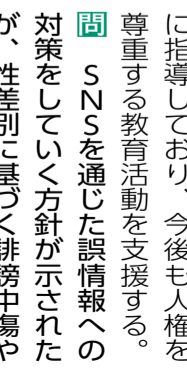
問 転居費用助成制度は、区役所や地域区民センター、区民集会所等にチラシを置くことで、目にする可能性が増えるのでは。

SNS上の性差別による誹謗中傷対策と情報教育の必要性



問 SNSでの性差別や偏見が社会にあるジェンダーバイアスの問題であり、発言の萎縮を生むことが民主主義の根幹を揺るがす問題であるという認識を教育していく必要性を問う。

答 SNS上の問題に関し、学校では人権上の問題として大切に指導しており、今後人権を尊重する教育活動を支援する。



問 SNSを通じた誤情報への対策をしていく方針が示されたが、性差別に基づく誹謗中傷や抑圧への対策も含めていくのか。

答 職員向け研修や区民向け啓発講座等を通して、情報リテラシーの向上に努めながら、情報リスクに対する力を育てていく。

問 SNS上でまん延する性差別や女性軽視についての問題意識を問う。デジタル空間においても区のジェンダー平等の理念を貫く姿勢があるか問う。

※掲載している一般質問の内容は当時の発言をもとに構成しているため、現在の状況とは異なる場合があります

2030カーボンハーフ達成へ全区民参加と全庁的な推進を



くすやま美紀 (共産)

地球温暖化は深刻。2030年カーボンハーフ達成に向けて、全区民に参画を呼びかけるべき。現状と達成までにどれだけの努力が求められているかを明確にすること、全庁的な推進、チェック機能の強化を求める。

脱炭素アドバイザーの支援を活用し、2030年までのロードマップを作成し、区民・事業者・区役所が何に取り組み、成果を積み上げていくのかを、誰にでも分かる形で示していく。



家電製品等の買い替え助成、住宅の断熱リフォーム助成など、支援制度の広報を強化すべき。

2月中に公開予定の再エネおよび省エネに関するポータルサイトの掲載内容などに工夫を重ねながら取り組んでいく。

低廉な家賃で安心して住み続けられる公営の高齢者住宅は不可欠。みどりの里に限らず、多様な手法を組み合わせて高齢者住宅を確保することを求める。

低廉な家賃で入居できるセーフティネット専用住宅の新規登録戸数を増やすための取組を進めている。加えて都営住宅の建て替え時にシルバーピアを設置するように要望していく。

孤立出産から母子の命を救っている熊本の現場を視察して



鈴木ちづる (維無)

熊本県にある「このとりのゆりかご」を設置した慈恵病院を視察した。妊娠出産、人命に関わる女性の体と心の支援について、LINE相談「すぎなみ妊娠SOS」に望まない妊娠に関する相談があった場合、どのような体制で対応し、情報提供や助言を行っているのか。

匿名性の確保に留意し、相談内容を確認した上で看護師や助産師等の専門職が相談者に寄り添った対応をしている。「このとりのゆりかご」の意義について区長の考えは。親がさまざまな事情により子どもを育てられない場合でも匿名で受け入れることで、子どもの生命を確実に守るという点において、意義があると考える。

緊急避妊薬が要指導医薬品として販売開始。区内の対応薬を一覧を分かりやすく掲載を。ホームページで情報提供を始めていくが、今後対応を図る。子どもの権利相談・救済窓口へ、妊娠や緊急避妊の匿名相談があった場合の対応は。



相談内容を丁寧に確認し、状況に応じて適切な支援につなげるよう助言や案内を行う。

障害者の在宅避難、火災危険度が高い地域の防災まちづくり



小池めぐみ (共産)

障害や家族の状況などにより、震災救援所まで行くことが困難で避難者登録ができない要配慮者に対し対策が必要では。

地域のたすけあいネットワークに登録している災害時要配慮者に対して電話や訪問で安否確認を行うとしている。震災救援所で作成する「安否確認チェックシート」には、必要な基本情報が記載されることから、これを避難者登録の手続きに代えることができる仕組みとして、当事者が震災救援所に向かなくても済むよう検討していく。



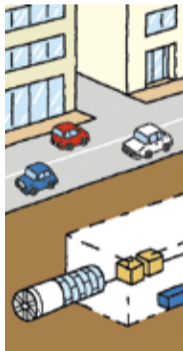
区内唯一の火災危険度5である高円寺北3丁目是不燃化助成対象区域になっていないため耐火・準耐火建築物に新築する際の助成がない。火に強い建物に新築する際の助成や除却費用の引き上げなど補助の拡充を。高円寺北3丁目では平成28年度から、耐震性が不足している木造建物の除却助成を行っている。8年度より、当該地区における耐震性の不足する木造住宅に対する除却費用の上限額を引き上げ、耐震化・不燃化を総合的かつ重点的に進めていきたい。

都市計画道路の検討は住民との協議を尽くし見直しを



山田耕平 (共産)

外環道工事の掘進中に大ギア一部に変状発生。1月21日に点検・停止したが、同日のオーブンハウスで説明されず、国・事業者に対して異常時の速やかな情報提供を求めるべき。



情報提供の遅れが不安と不信につながる。事業者へ速やかに情報提供するように強く求めた。補助133号線は都施行だが、地域の暮らしへの影響が大きい。区は住民との対話の努力を尽くしており、拙速に事業化しないよう都に求めるべき。

閑静な低層住居地域を貫く大規模事業のため、生活環境に与える影響は大きく、丁寧な議論が不可欠。地元自治体の責任があり、住民の声を都に届ける。西荻窪地域の(仮称)デザイン会議は重要な前進。報告会では住民の努力と、伴走した区職員の努力が実を結んだ。住民自治のまちづくりとして、今後支え、具体化を進めるべき。

対話により参加者同士の信頼関係が構築され、まちづくりの場になっていることに意義を感じる。対話の積み重ねが地域の具体的な魅力向上につながるよう、住民とともに取り組む。

高市政権への区長の政治姿勢を問う



ほらぐちともこ (革新)

高市首相による防衛費GDP比3.5%、さらには5%に増額しようとする軍備拡大政策について、区長の見解を伺う。



国の安全保障や外交に関する事項は国の専管事項であることから、地方自治体の首長としての意見は差し控える。高市首相の「台湾有事は日本の存立危機事態」発言について、第4回定例会で、「外交や安全保障政策は国の専管事項であり、意見を述べる立場にない」と答弁する一方、戦争の最前線に送られることになる自衛隊員の入隊激励会の会場を区が提供し、区長自らが出席していることについて、区長の見解を伺う。また7年度はいつ開催されるのか。区長は出席するのか。

激励会は、主催団体である自衛隊家族会および自衛隊地方協力本部の要請に基づき、会場を提供し区長が出席。7年度は3月23日開催で区長も出席予定。原発政策について、区長の見解を伺う。

原発再稼働は、安全対策や避難計画を含む実効性ある防災体制が確保されているのか、慎重な検証が不可欠だと考える。

道路、通学路の安全対策ゾーン30・ゾーン30プラス



宇田川ゆうじ (無都)

杉並警察署管内で1区域、高井戸警察署管内で2区域、荻窪警察署管内で14区域の合計17区域で整備されているゾーン30の効果について伺う。

速度抑制を中心とした面的な交通安全対策は、事故を減少させ、抜け道目的の車両の流入抑制にも効果があり、交通の安全度を高め、効果を上げてきた。荻窪駅南側区域のゾーン30プラスの設備である発光型ポールに多くの破損が見られる。



現在、準備しており修繕していく。現状復旧を基本的に配置の見直し、維持管理に努める。小学校通学路の交通安全対策、路面標示の点検、標識の位置が適切か改めて確認すべき。

毎年度10校を対象に通学路合同安全点検を実施している。大雨による内水氾濫時の通行禁止箇所や時間規制がある商店街へのライジングボラードの設置について伺う。ライジングボラードを活用した対応は可能性の一つとして受け止める。具体的な導入の検討はしていないが他自治体の商店街の事例等を参考にさまざまな活用の可能性を探っていく。

共に地域をつくる仲間 多文化共生施策はまず支援充実を



フुरुシジャー明彦 (シ杉)

多文化共生という社会づくりに向けて、区としての対策・方針をしっかりと打ち出し、そのビジョンを全庁で共有・検討していく必要があると考える。



外国人住民の多様化・定住化を踏まえると、職員の理解を深め、関係部署が連携することは必要不可欠。多文化共生推進庁内連絡会議を設置し、全庁一丸となって多文化共生の取組をさらに進めていく。

SNSなどにおけるうわさや偏見、偽情報への対応は。深刻なリスクで決して看過できない。関係部署で速やかに事実確認を行い、必要に応じて正確な情報を迅速に発信する。また、職員研修や区民向け啓発講座等を実施し、区全体の情報リスクに対する力を育てていく。

子どもたちの未来に向け、教育長は学校現場での多文化共生の取組をどう認識しているか。国では多様な個性や特性、背景を有する子どもたちを包摂するための学校教育のあり方を検討中。これからの社会を担う子どもたちが多様性を尊重しながら共に生きる力を身に付けることは重要なことであると認識。

有権者に不誠実な政治家に、誠実な区政運営はできません



わたなべ友貴 (自民)

区長は衆議院選挙において、「原発ゼロ」を掲げる緑の党や生活者ネットの区議会議員同様、「原発再稼働容認」政党、中道改革連合の候補者を選挙期間12日間のうち8回応援。こども簡単に信念を曲げられるのかと感心した。原発再稼働への見解は、政治家として大切にしている普遍的な姿勢に基づくものであり変わるものではない。

私は政策変遷を否定しない。区長の不誠実な点は、重要政策を180度転換した政党候補者を応援したことを有権者へ説明せず、開き直り、やり過ぎ無責任な姿勢。これは、区長選挙で聞こえのいい公約を並べたにも関わらず、実現できないとみるや説明責任を果たさず、開き直り、「対話」という言葉を盾に、誤りを認めずやり過ぎ姿勢と全く同じ。区長がいじめ重大事案の被害当事者児童に残酷・冷酷な言葉を吐き捨てたことも報道。有権者に不誠実な政治家に、誠実な区政運営ができるとは思えない。重要政策を180度転換した候補者を応援したことについて説明責任を果たしたのか。

学童待機児童「全国ワースト1位」区長の政治責任を問う



井口えみ (無都)

区は昨年春の時点で学童クラブの待機児童数が512人に達した。全国自治体の中でワースト1位という不名誉な記録を打ち立てた。需要増の判断を先送りし、対話で空転させた結果だ。これは明らかに区長の政治判断の誤りで失政だ。区長は、取り返しのつかない状態を自ら作り出している自覚はあるのか。現状をどう受け止め、自らの政治的責任をどう考えているのか。



今後は、複数の対策を着実に実行し、待機児童の早期解消に向けて結果を出していく。放課後等居場所事業には読書をした子ども元気に動き回る子ども同じ空間で過ごさざるを得ない現場があり、騒がしく疲れてしまう子どもがいるとの声がある。学童クラブの受け皿になっっていない実態が見えており、質の向上は急務だ。かつて子育てするならば並とたたえられた区のブランドを、わずか4年で全国ワースト1位へ転落させた。この現状に具体的な対応を求め、区長の覚悟を問う。意見を受け止める。取組を充実させ、学童クラブの受け皿としての役割を果たしていく。

多文化共生の数千万の予算は、子供の安全対策に回すべき!



小林ゆみ (f r)



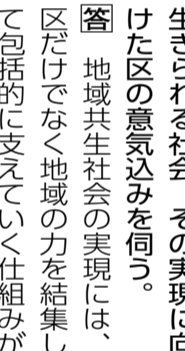
昨年引き続き今年1月に区立保育園からの園児抜け出しが発生した。これまでの対策は、保護者へ再発防止策を説明し、全園で事故概要の共有など安全管理体制を強化。また全保育施設で門扉等の緊急点検を実施し、必要な追加対策を講じた。

区内園児抜け出し事故は過去3年に私立園で5件発生したが区から公表なし。保護者含め公に事故情報を共有すべきでは。区内保育園に事故内容を共有する。8年度予算案に、多文化共生拠点事業2878万円、多文化共生キーパーソンの育成250万円が計上されている。内容と、そのうち新規のものを伺う。日本語教室等の「コミュニケーション」支援や在住外国人等への情報発信など。新規取組は放課後学習教室、育成講座等の実施や多文化共生懇談会開催等。杉並区は外国人向けの学習支援を強化することだが、支援の基準は国籍ではなく、困難の程度に基づくべきでは。放課後の学習教室は、外国人の放課後居場所事業の中で支援していく考え。

全ての人が地域の一員として尊重され、排除されない社会へ



奥田雅子 (シ杉)



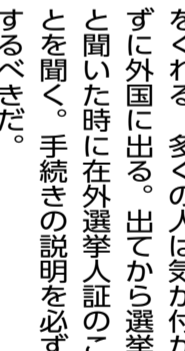
地域共生社会は「弱い人を助ける社会」ではなく、誰もが排除されず、尊厳をもって共に生きられる社会。その実現に向けた区の意気込みを伺う。地域共生社会の実現には、区だけでなく地域の力を結集して包括的に支えていく仕組みが重要と認識。地域の居場所づくりを進め多世代交流などを支援する。また、複数の課題に対応できる重層的支援会議などの相談支援の強化に取り組んでいる。

地域福祉コーディネーターの活動について地域の評価をどう事業改善につなげるのか伺う。好意的な声がある一方、「地域づくりに向けた支援がどういふものなのか、その効果が分かりにくい」などの意見もある。一つ一つの地域の声を大切にしながら、地域の状況等を分析し、事業に反映させていきたい。区では「断らない相談支援」は実現しているのか。相談を引き受け続ける仕組みとは。単なるワンストップサービスによる方法ではなく、関係部署間の連携を図ることで「断らない相談支援」を着実に進めている。

在外選挙人証の説明を確実に。無料の電源力フェ・コミから



奥山たえこ (シ杉)



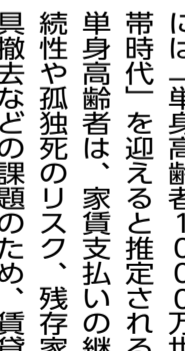
外国で投票するためには在外選挙人証が必要である。住民票の手続きをすると小さなメモをくれる。多くの人は気が付かず外国に出る。出たら選挙と聞いた時に在外選挙人証のことを聞く。手続きの説明を必ずすべきだ。

今後は「ご案内」に詳細な説明が得られる二次元コードを掲載するなど、分かりやすくより目立つように改善する。コミュニティふらっとにWiFiが設置されている。横長の机があって、一人分くらいのスペースがあって、いわゆる電源カフェである。設置の趣旨、利用者の声は何か。どなたでも無料かつ予約不要でふらっと立ち寄ることができるラウンジを設けており、パソコンやスマートフォンなどが使いやすいよう、WiFi環境やカウンター席へのコンセントを整備している。全ての集会施設のフリースペースに設置している。使いやすいとの声がある一方、WiFiがつかないなどのご意見をいただいている。新年度予算で改善を図る予定。

単身高齢者世帯をサポートせよ/すぎ丸バス事業の充実を



おおつき城一 (公明)



物価高騰と同時に、賃貸住宅の家賃上昇が懸念されている。超高齢社会が進み、2040年には「単身高齢者1000万世帯時代」を迎えると推定される。単身高齢者は、家賃支払いの継続性や孤独死のリスク、残存家具撤去などの課題のため、賃貸契約を断られる場合があり、住宅確保が困難に。家主の不安を解消する施策を推進すべき。また、高齢者居住支援において、重複する事業は整理が必要では。住まいは権利であり、最優先の課題である。議員の指摘とおり居住環境整備に取り組む。

個人住宅には住宅ローン減税がある。住宅価格高騰の中で、賃貸で住み続ける多様な生活スタイルにもサポートを求める。他自治体の家賃助成を研究。地域に定着しすぎ丸バスさくら路線の継続運行を望む。関東バスが前向きに検討中。バス運転手不足が全国的な課題に。他自治体では急速に進むAI技術等によるバス自動運転の実証実験を実施。当区も国の補助事業を活用した検討を。実証運行の実施に向け、国の動向や先進的取組を注視する。

集めて配るよりも減税! 移民大国にさせない! 親子交流!



横田政直 (参政)



集めて配るよりも減税すべき。給付金について直近分の給付総額、経費、経費の割合は、給付金額19億9500万円余、事務費1300万円余、業務委託料9500万円余、経費の割合は5・2%。区民全体に占める外国人の割合の直近3年間の推移は、6年は33.3%、7年は39%、8年は4・3%。欧州での移民政策の失敗、スウェーデン、ドイツがどういう状況であるか直視すべき。全ての区民が国籍にかかわらず、安心して住むことができる共生社会を目指す。投票所入場券がない場合は顔写真付き身分証提示を原則に。投票行為へのブレーキをかける可能性があり、慎重に対応。投票所監視カメラを。現状、選挙執行管理上の公正性、透明性は担保されている。不在者投票制度の悪用に対し、外部立会人の利用率向上を。事業者への法の趣旨を説明。本年4月から施行される共同親権、親子交流等の周知を。ポスター掲示も含め、効果的に周知していく。

言及は差し控える。

【問】 中長期的な視点から学校の適正配置を検討する必要があります。児童相談所の開設が11月に迫るなか、社会的養育推進計画の策定手続きが明らかになっていないなど問題がある。8年度末までの整備費等の見込み額は、同計画については開設後に策定する考え。整備・開設準備・運営費の合計額は43億円余。



【問】 金利上昇が進んでいる中で区が保有している債券の「含み損」を公表しないのは、区長公約から見ても不誠実ではないか。



堀部やすし (無)

含み損は27億円に拡大

### 杉並区議会個人情報保護に関する条例が施行されました

令和5年4月、「個人情報の保護に関する法律」が改正され、地方公共団体の個人情報保護制度について、全国的な共通ルールが適用されることとなりましたが、地方議会は、この法律の適用対象外とされ、独自の個人情報保護制度をそれぞれの議会ごとに設けることとされています。



条例は区議会ホームページでご覧いただけます

法令に基づく場合等を除き、利用目的以外で個人情報を区議会内部で利用せず、また、外部へ提供しません。

#### ◇個人情報登録簿

区議会における保有個人情報の取扱い方法等を明らかにするため、個人情報を取り扱う業務の名称や個人情報の利用目的・記録の内容等を登録した個人情報登録簿を作成し、公表します。

#### ◇保有個人情報の開示・訂正・利用停止の請求

どなたでも、自己を本人とする区議会の保有個人情報について、開示・訂正・利用停止を請求することができます。

- 自分の情報を知りたいときは、保有個人情報の開示を請求することができます。
自分の情報の内容が事実でないと思われるときは、保有個人情報の訂正を請求することができます。
自分の情報について、区議会が利用目的の範囲を超えて保有していると思われる場合、偽りその他不正の手段により取得したと思われる場合等は、保有個人情報の利用の停止又は消去を請求することができます。

#### ◇個人情報の取扱いのルール

区議会では、区民等の皆さんの個人情報について、以下のとおり取り扱います。

- 個人情報を取得するとき
本人から直接書面(電磁的記録を含む。)にて個人情報を取得するときは、原則、あらかじめ本人に対して取得する個人情報の利用目的を明示します。
個人情報を管理・利用するとき
個人情報の漏えい、滅失又は毀損の防止その他安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。

### 区議会情報公開の運用状況

杉並区議会情報公開条例第22条に基づき、令和7年1月~12月までの運用状況をお知らせします。

情報公開請求件数 4件

Table with 4 columns: 決定状況, 件数, 決定日, 請求内容. It lists 4 cases of information disclosure requests, including requests for documents related to council members' actions and disciplinary measures.

### 議案等の概要と審議結果



議員別の表決結果は、こちらからご覧になれます。

#### 【令和8年第1回臨時会】

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 令和8年1月14日議決

Table with 12 columns: 議案番号, 件名, 付託委員会, 概要, 自民, 共産, 立憲, 公明, シ杉, 維無, 無都, 安心, 参政, 革新, セン, 杉わ, 無, 杉ク, fr, 国民, 結果. It lists 3 proposals from the council, including salary adjustments and budget corrections.

#### 《付託委員会》

総財/総務財政委員会、省略/委員会付託省略

《会派名・構成人数》(令和8年1月14日現在)

自民/杉並区議会自由民主党(8名)、共産/日本共産党杉並区議団(6名)、立憲/立憲民主党杉並区議団(6名)、公明/杉並区議会公明党(6名)、シ杉/シスターフッド杉並(5名)、維無/維新・無所属議員団(4名)、無都/無所属・都民ファーストの会(3名)、安心/安心・安全杉並の会(1名)、参政/参政党杉並(1名)、革新/都政を革新する会(1名)、セン/杉並をセンタク致し候(1名)、杉わ/杉並わくわく会議(1名)、無/無所属(堀部)(1名)、杉ク/区政杉並クラブ(1名)、fr/far right(1名)、国民/杉並区議会国民民主党(1名)



議員別の表決結果は、こちらからご覧になれます。

#### 【令和8年第2回臨時会】

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 令和8年1月23日議決

Table with 12 columns: 議案番号, 件名, 付託委員会, 概要, 自民, 共産, 公明, 立憲, シ杉, 維無, 無都, 安心, 参政, 革新, セン, 杉わ, 無, 杉ク, fr, 国民, 結果. It lists 1 proposal from the council regarding the dissolution of the assembly and election procedures.

#### 《付託委員会》

総財/総務財政委員会

《会派名・構成人数》(令和8年1月23日現在)

自民/杉並区議会自由民主党(8名)、共産/日本共産党杉並区議団(6名)、公明/杉並区議会公明党(6名)、立憲/立憲民主党杉並区議団(5名)、シ杉/シスターフッド杉並(5名)、維無/維新・無所属議員団(4名)、無都/無所属・都民ファーストの会(3名)、安心/安心・安全杉並の会(1名)、参政/参政党杉並(1名)、革新/都政を革新する会(1名)、セン/杉並をセンタク致し候(1名)、杉わ/杉並わくわく会議(1名)、無/無所属(堀部)(1名)、杉ク/区政杉並クラブ(1名)、fr/far right(1名)、国民/杉並区議会国民民主党(1名)、杉立/杉並区議会立憲民主党(1名)

# 令和8年度予算について

# 意見発表

予算特別委員会の最終日に、各会派から予算の賛否について意見の発表がありました。その要旨をお知らせします。  
※二次元コードを読み込むと、意見の全文を会派別の動画でご覧いただけます。

## 次なる杉並区政の舵取り役を決めるのは、杉並区民の皆様！

杉並区議会自由民主党



大和田 伸

令和8年度杉並区一般会計当初予算案について、反対する。まず、8年度は岸本区長の任期が3カ月だけでも関わらず、本格予算を組み、新規取組も多く含まれているのは区長選という民意への配慮を欠いている。好調な歳入を理由に、行財政改革の後退が明らかな現状。財政効果見込額について、8年度は7年度比較で7割弱の水準に減少。しかも、従来の算出方法を用いると7年度同様「行革に

よる財政効果がマイナス」であり、前代未聞である。岸本区長が杉並区の今と未来に責任を持ち、リーダーシップを発揮して施策を展開しているかについて、「施設マネジメント」においては、次世代へ過大な負担を残さぬよう、定常化社会を見据えた取組を念頭に置くべきである。児童館の整備についても中・高校生機能優先館を増やす前に、現に多くの家庭が困っている「学童クラブ」等の設置を優先すべきである。子供を巡る不祥事が多発する当区において、「いじめ」から子供を守るには初期対応に当た

る区長直轄の組織が必要。要は区長の覚悟が問われているのであり、正面から向き合おうとしない杉並区政には危機感を抱く。任期満了が迫る中、区長公約達成率について、会派調べでは、7年度末まででわずか34.1%。話にならない。

私たちが会派は、区民の皆さんの声を胸に岸本区政と対峙してきた。あとは私たちの思い描く「杉並を伸ばす未来像」を正々堂々と訴え、次なる4年間の舵取り役を区民の皆さんの判断に委ねる。

議案第37号については、ただでさえ少ない財源保留をさらに用いることから、反対する。その他、予算特別委員会に付託されている議案には賛成する。

## 岸本区政の4年間の前進と、暮らしを守る8年度予算を評価

日本共産党杉並区議団



富田 たく

8年度予算が区民の暮らしや事業を支え、福祉・教育・防災・区民参画を前進させる内容かという視点で審査を行った結果、一般会計予算に賛成する。以下、その理由を述べる。物価高騰の中、区民の購買力向上と商店支援につながるポイント還元事業・プレミアム付商品券事業を評価する。また、補正予算(第1号)で実施されるエアコン設置補助も評価する。都補助金の活用が進み、高齢

者補聴器購入費助成の補助額が1.5倍に引き上げられたことは重要である。子どもの権利条令制定から1年が経過し、子どもを権利の主体と位置づけ、意見表明機会の確保や、権利救済の取組は重要。ケアする人をケアする観点から介護職員・支援専門員への居住支援や採用経費補助の実施に現場から歓迎の声が届いている。教育では、区費時間講師や特別支援学級介助員等の増員は教員負担軽減につながる重要な拡充。学校トイレ洋式化が8年度末約89%へ進むことも評価する。防災対策は4年間で着実に前

進し8年度も拡充が図られている。木造住宅耐震化では高円寺北3丁目での除却費助成額を150万円から200万円に拡充するなどの前進が見られる。「対話の取組」については「何も決まらない」など批判もあるが、まちづくりには区民理解を深め将来像を共有する長期的視点が必要であり、この4年間で「区民参加と対話」を基盤とする区政は着実に前進した。今後のさらなる発展を期待する。

国民健康保険事業会計は負担軽減への働きかけ等は評価できるが保険料が大幅な値上げとなること、介護保険事業会計は前年の値上げを引き継いでいること、後期高齢者医療事業会計は8年度値上げとなるため反対。

## 確かな財政運営とデジタル改革で暮らしをより便利で豊かに

杉並区議会公明党



渡辺 富士雄

令和8年度杉並区一般会計予算ほか、付託された諸議案に賛成の立場から意見を述べる。審議に臨むに当たり、以下の5つの視点を重視し、慎重かつ多角的に審査を行った。  
①区民のいのちと暮らしを守る予算となっているか。  
②災害に強いまちづくりをハード・ソフト両面で進め、組立式個室トイレなど備蓄品の充実、母子救済所の体制整備など、避難生活の質向上への取組が進展している点を評価する。必要とする区民一人ひとりに確実に届くよう、丁寧な周知と切れ目のない相談体制の充実を強く求める。  
④財政の健全性と持続可能性が確保されているか。財政規模が拡大する中でも、規律ある財政運営に努める姿勢を評価する。今後区民の安全・安心を最優先とした財政運営が行われるよう強く要望する。  
⑤区政運営におけるデジタル化が具体化されているか。行政手続のオンライン化やキャッシュレス決済の導入など、利便性向上と行政効率化を図る取組が各分野で具体化している点を評価する。今後は単なるシステム導入にとどまらず、実効性あるDXとして定着させていくことを期待する。

## 将来に繋ぐ財政、住民や生活者・中小事業者が主役の杉並へ

立憲民主党杉並区議団



松本 浩一

令和8年度一般会計予算は2530億円余と過去最大規模となった。基幹収入の特別区税は増収も、ふるさと納税による税収流出は深刻。その中で、特別区債への対応では、長期金利が上昇局面にある中で新規発行額を抑制した判断を、将来世代への負担軽減の観点から評価する。今後は基金と区債のバランスを取り、当初想定を上回る施設整備基金や本庁舎改築基金の丁寧な再試算と議論を強く求める。  
【福祉・子ども】介護職員・

私たちは今、不透明で厳しい時代の岐路に立たされている。円安による物価高騰が続く、エネルギー料金も44年ぶりの高水準となるなど区民生活に大きな影響を与えている。我が会派では、生活者の視点から本予算を確認し、区民福祉の向上に資するものと判断し、賛成する。歳出について、意見・要望を述べる。  
【防災・経済・みどり】震災救援所の備蓄充実や母子救済所の機能付与、擁壁補強工事等の助成、中小企業支援、商店街の助成、みどりの保全や樹木診断の拡充の取組は重要。  
【教育・共生】いじめ重大事態の対応、EA増員、区費採用時間講師の試行配置や学校問題対応専任弁護士配置、学びの多様な学校設置準備や選定療養費への補助、平和施策の区民懇談会設置や多文化共生、スポーツ施設整備等の実現を要望する。

住民参加の強化は区政に新たな風を吹き込んだ。今後は対話を重ね、施策を共に決める運営の定着が重要。「ケアする人をケアする」理念で支え合う地域社会実現に向け、提案を続ける。

### 区民福祉を守り、多様な声を聴く参加型 区政に期待する

シスターフッド杉並



そね 文子

当会派は、区民福祉をいかに守るか、次世代が希望を持てる予算になっているかとの視点で審査に臨んだ。総合計画に基づき、児童相談所の開設、学びの多様な学校整備に向けた取組、気候危機対策、防災・減災対策、グリーンインフラの推進などを評価し、2026年度一般会計予算及び諸議案に賛成する。

高齢者の見守り体制に新たな見守りキーホルダーの全区的取組を評価。元気なうちからケア

環境施策では、2030年の目標達成に向け、数値に基づく進捗管理、杉並の力でエネルギーの自給自足、脱炭素化を全庁的に加速することを求める。

教員の負担軽減のためにエデュケーション・アシスタントの増員、区費時間講師の臨時的増員を評価。通常学級に在籍する知的障がい児童にも学習支援教員の支援が受けられるよう対応を求める。

区民参加型の対話の取組は行政と区民の信頼関係を構築するもので、将来の対立や停滞を未然に防ぐための公共的基盤への投資であるとの区の姿勢に賛同。今後も区民同士、区民と行政との対話を進めながら、施策をさらに向上させることを求める。

### 区民の望むいじめ対応を区長部局でも担 う体制の即整備を!

維新・無所属議員団



鈴木 ちづる

令和8年度杉並区一般会計予算ほか、付託されている各議案について意見を述べる。

福祉分野では、「ひとり親家庭実態調査」で実態を分析し、「離婚前後の家庭に対する支援講座の開催」等、当事者の声を基にした支援を評価する。また、移動支援事業の拡充とガイドヘルパーのサービスマン見直しによる福祉人材とその質の確保を図る取組、緊急時の地域での支援体制強化等も評価できるが、

支援制度は必要な方々に届いているかの捕捉率の検証が不可欠。教育分野では、学校教育推進の施策として、7年度から始まっている次世代校務DXの推進が23区の中でも時代の流れに乗ることができており、評価する。

さらに、子どものいじめ問題や学校での重大事案には、現在教育委員会中心の対応が基本だが、子どもの権利擁護や早期把握の観点から、教育委員会とは別の体制整備も重要。まずは不適切な行為を即時に止めることを最優先とし、関係機関が連携し、事実関係の調査や対応を協議する姿勢を求める。子どもの命と尊厳を守る杉並モデルとして、「誰が区長となっても」いじめ解決への力強い取組を早急にスタートさせることを求める。

財政面では、持続可能な財政運営、予算規模拡大への認識、自治体の担税力向上の3つの視点から判断し、社会保障費の増加や物価高騰の中でも、財政規律を意識した予算編成が行われ、地域経済活性化や産業振興を通じて税源育成の視点も盛り込まれ、評価できることから、令和8年度一般会計予算に賛成する。

特別会計における国民健康保険や介護保険について、保険料の負担軽減につながる取組を進めることを求めた上で賛成する。予算以外に付託された諸議案についても賛成する。

## 予算特別委員会とは

区長から提案された令和8年度予算案を審査するため、全議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月6日から3月18日までの9日間にわたり、各歳入歳出の審査（質疑、意見開陳、採決）を行いました。（議案第13～23・28～31・35～37号）

区の予算は多岐にわたっているため、質疑は予算の使い道ごと（総務費、保健福祉費、都市整備費など）に分け、その内容を詳しく審議しました。

予算特別委員会の様子は、区議会ホームページの録画配信（動画）や会議録でご覧になれます。



予算特別委員会の様子



▷委員長（写真左）  
田中 朝子委員  
▷副委員長（写真右）  
おおつき城一委員

なお、掲載されている意見の他、次の会派からも意見の発表がありました。

子どもの安全を守り、確かな備えを杉並に。  
無所属・都民  
ファーストの会



区長は己の言葉に責任を持って！子供を守れ！  
日本自由党杉並



子供の命と安全より優先される施策に疑問符  
far right



対話の区政、「区政を話し合う会」を半減  
区政杉並クラブ



子ども達を守るためにいじめ対策予算拡充を  
安心・安全杉並の会



杉一小移転先土壤汚染区は完全撤去保証せず  
杉並わくわく会議



楽観で塗り固めた予算は区政破綻の序章だ  
杉並区議会  
国民民主党



新型コロナワクチン接種に5億円超の予算？  
参政党杉並



含み損27億円に拡大中問われる区の債券運用  
無所属（堀部）



対話の区政はまさに民主主義の実践そのもの  
杉並区議会  
立憲民主党



### 決議

令和8年3月18日の予算特別委員会における田中ゆうたろう議員の議会の秩序及び品位を損なう言動に対する問責決議

※決議の全文は、区議会HPでご覧になれます。



### お知らせ

◆新会派結成（1月15日付）  
杉並区議会立憲民主党（略称：杉立）所属議員1名 赤坂 たまよ

◆新会派結成（2月2日付）  
「杉並をセンタク致し候」から「日本自由党杉並」（会派名称略称：自由）へ名称変更しました。

### 議員の報酬額をお知らせします

議員報酬については、杉並区特別職報酬等審議会の答申に基づき、区議会の審議を経て、条例で定めています。

（令和8年4月1日現在）

|     | 報酬月額     |      | 報酬月額     |
|-----|----------|------|----------|
| 議長  | 893,100円 | 委員長  | 671,300円 |
| 副議長 | 808,200円 | 副委員長 | 643,300円 |
|     |          | 議員   | 621,500円 |

※区長などの給料は「広報すぎなみ（令和7年12月1日号）」等に掲載しております。

# 議案等の概要と審議結果



議員別の表決結果は、こちらからご覧になれます。

【令和8年第1回定例会】

○=賛成 ×=反対 △=会派で意見が分かれたもの 除=除斥 欠=欠席 令和8年3月31日議決 (◆は2月19日、◇は3月19日)

| 議案番号 | 件名   | 付託委員会 | 概要  | 自民 | 共産 | 公明 | 立憲 | シ | 維   | 無 | 安 | 参 | 革 | 自 | 杉 | 無 | 杉 | f | 国 | 杉 | 結果 |      |    |
|------|--|-------|---|----|----|----|----|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|------|----|
| 4号   | 杉並区財政状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例◇   | 総財    | 財政状況の公表の方法の改正等  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 5号   | 杉並区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例◇                                   | 総財    | 生理休暇の名称の改正  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 6号   | 杉並区印鑑条例の一部を改正する条例◇   | 区民    | 電気通信事業法の一部改正に伴う規定の整備  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 7号   | 杉並区乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例◇                              | 保健    | 乳児等通園支援事業の運営規程に定める事項の改正等  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 8号   | 杉並区立保育所及び小規模保育事業所条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例◇                             | 保健    | 堀ノ内東保育園を廃止する規定の施行期日の変更  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 9号   | 杉並区特定乳児等通園支援事業の運営の基準に関する条例◇  | 保健    | 特定乳児等通園支援事業の運営の基準の設定等   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 10号  | 杉並区職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例◇   | 文教    | 学校教育職員の定義の改正等   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 11号  | 杉並区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び杉並区学校教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例◇ | 文教    | 生理休暇の名称の改正  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 12号  | 杉並区立済美教育センター条例の一部を改正する条例◇  | 文教    | 済美教育センターの分室の廃止等   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 13号  | 杉並区職員の給与に関する条例及び杉並区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例◇                  | 予特    | 管理職員の給与の改定等   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 14号  | 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例の一部を改正する条例◇                                     | 予特    | 荻窪地域区民センターの使用料の改定等  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 15号  | 杉並区立すぎのき生活園条例の一部を改正する条例◇   | 予特    | すぎのき生活園の位置の変更   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 16号  | 杉並区立自転車駐車場条例の一部を改正する条例◇  | 予特    | 西永福北自転車駐車場の廃止等  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 17号  | 杉並区営住宅条例の一部を改正する条例◇  | 予特    | 区営住宅3か所の駐車場の使用料の改定  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 18号  | 杉並区事務手数料条例の一部を改正する条例◇  | 予特    | 要除却認定マンションの建替えにより新たに建築されるマンションの容積率の特例許可申請手数料に係る規定の改正等   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 19号  | 杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例◇                                       | 予特    | 幼稚園教育職員の管理職員特別勤務手当の支給対象となる時間帯の拡大等   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 20号  | 杉並区学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例◇  | 予特    | 学校教育職員の管理職員の給与の改定等  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 21号  | 杉並区選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例◇                                    | 予特    | 選挙長等の報酬の額の改定  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 22号  | 杉並区議会議員及び杉並区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例◇                       | 予特    | 選挙運動の公費負担の限度額の改定  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 23号  | 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について◇   | 予特    | 東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 24号  | 令和7年度杉並区一般会計補正予算(第8号)◇   | 総財    | 施設整備基金及び財政調整基金並びに杉並区役所庁舎整備基金への積立てのほか、国民健康保険事業会計への繰入金や、公定価格の改定による私立認可保育所等への追加の給付経費等について、緊急を要する経費や新たな事情の変化に伴う経費など、117事業65億9,184万4千円の増額補正のほか、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正 | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | ○    | 可決 |
| 25号  | 令和7年度杉並区国民健康保険事業会計補正予算(第3号)◇   | 保健    | 繰越金等の歳入及び保険給付費等交付金償還金等の歳出の実績に伴い、9事業10億5,612万7千円の増額補正  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 26号  | 令和7年度杉並区介護保険事業会計補正予算(第1号)◇   | 保健    | 繰越金等の歳入及び介護保険給付費準備基金の積立等の歳出の実績に伴い、6事業12億7,810万5千円の増額補正  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 27号  | 令和7年度杉並区後期高齢者医療事業会計補正予算(第3号)◇  | 保健    | 後期高齢者医療保険料等の歳入及び広域連合分賦金等の歳出の実績に伴い、5事業5億2,771万3千円の増額補正   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 28号  | 令和8年度杉並区一般会計予算◇  | 予特    | 予算額 2,535億2,800万円   | ×  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○  | 可決   |    |
| 29号  | 令和8年度杉並区国民健康保険事業会計予算◇  | 予特    | 予算額 529億389万4千円   | ○  | ×  | ○  | ○  | △ | 賛成4 | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 30号  | 令和8年度杉並区介護保険事業会計予算◇  | 予特    | 予算額 474億1万5千円   | ○  | ×  | ○  | ○  | △ | 賛成4 | ○ | ○ | × | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 31号  | 令和8年度杉並区後期高齢者医療事業会計予算◇   | 予特    | 予算額 178億7,353万3千円   | ○  | ×  | ○  | ○  | △ | 賛成4 | ○ | ○ | × | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 32号  | 人権擁護委員候補者の推薦について◆  | 省略    | 大川康徳(おおかわ やすのり)氏を候補者として推薦   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 賛成   |    |
| 33号  | 人権擁護委員候補者の推薦について◆  | 省略    | 高村定憲(たかむら さだのり)氏を候補者として推薦   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 賛成   |    |
| 34号  | 人権擁護委員候補者の推薦について◆  | 省略    | 清水由美子(しみず ゆみこ)氏を候補者として推薦  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 賛成   |    |
| 35号  | 杉並区国民健康保険条例の一部を改正する条例◇   | 予特    | 基礎賦課額等の保険料率の改定及び子ども・子育て支援納付金賦課額の保険料率の設定等  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 36号  | 杉並区介護保険条例の一部を改正する条例◇   | 予特    | 令和8年度の保険料率の算定に関する所得の額の算定方法の特例の設定等   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 37号  | 令和8年度杉並区一般会計補正予算(第1号)◇   | 予特    | エアコン購入費等の助成に要する経費について、2事業1億8,590万7千円の増額補正   | ×  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | × | × | × | ○ | ○  | 可決   |    |
| 38号  | 杉並区特別区税条例等の一部を改正する条例   | 区民    | 軽自動車税の環境性能割を廃止する等の改正  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 報告1号 | 地方自治法第180条第1項の規定により指定された損害賠償額の決定の専決処分をしたことの報告について◆                   | —     | 7件の法律上の義務に属する損害賠償額を報告   | —  | —  | —  | —  | — | —   | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | —  | 報告聴取 |    |
| 2号   | カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書◇                                     | 省略    | 国に対して、カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書   | ×  | ×  | ×  | ×  | △ | 賛成2 | × | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | × | × | × | ×  | 否決   |    |
| 3号   | 令和8年3月18日の予算特別委員会における田中ゆうたろう議員の議会の秩序及び品位を損なう言動に対する問責決議               | 省略    | 11面をご覧ください。   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 除 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 可決   |    |
| 4号   | 訪問介護の基本報酬の引上げを求める意見書   | 省略    | 5面をご覧ください。  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○ | ○   | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○  | 可決   |    |

《付託委員会》  
 総財/総務財政委員会、区民/区民生活委員会、保健/保健福祉委員会、文教/文教委員会、予特/予算特別委員会、省略/委員会付託省略  
 《会派名・構成人数》(令和8年3月31日現在)  
 自民/杉並区議会自由民主党(8名)、共産/日本共産党杉並区議団(6名)、公明/杉並区議会公明党(6名)、立憲/立憲民主党杉並区議団(5名)、シ杉/シスターフッド杉並(5名)、維無/維新・無所属議員団(4名)、無都/無所属・都民ファーストの会(3名)、安心/安心・安全杉並の会(1名)、参政/参政党杉並(1名)、革新/都政を革新する会(1名)、自由/日本自由党杉並(1名)、杉わ/杉並わくわく会議(1名)、無/無所属(堀部)(1名)、杉ク/区政杉並クラブ(1名)、fr/far right(1名)、国民/杉並区議会国民民主党(1名)、杉立/杉並区議会立憲民主党(1名)  
 会派別の議員氏名一覧はこちらをご覧ください。▶

